

令和 6 年度 事業報告書

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)



学校法人ファースト学園
専門学校ファースト学園 金沢校

目 次

- ・建学の精神
- ・教育理念
- ・学校法人の沿革
- ・学校法人概要
- ・設置校の概要
- ・年度基本方針
- ・年度重点目標
- ・活動報告
- ・学校自己評価報告書
- ・令和 6 年度計算書類

建 学 の 精 神

情報処理技術を培い、社会に貢献できる技術者の育成。

教 育 理 念

専門学校ファースト学園 金沢校は、学生の無限の可能性を引き出し、社会に貢献する人材を育成する。

学校法人の沿革

昭和 5 9 年	北陸コンピューター専門学校を設置認可
昭和 6 2 年	学校法人田部学園に設置者変更
昭和 6 0 年	谷口俊雄が有限会社ファースト・ゼミナールを設立金 沢市尾山町 4 番 5 号
平成 5 年	学校法人田部学園から谷口俊雄が事業を引継ぎ、ファーストコンピューター専門学校に名称変更
平成 6 年	学校法人ファースト学園設立 校名 ファーストコンピューター専門学校
平成 1 6 年	金沢市堀川新町に移転
平成 1 7 年	山田宇一郎が代表理事に就任
平成 2 1 年	加藤泰博が代表理事に就任
平成 2 6 年	林康夫が理事長就任
平成 2 8 年	現在地に移転。専門学校ファースト学園金沢校に名称変更 グローバルコミュニケーション科 新設 加藤泰博が校長に就任
令和 2 年	林直樹が理事長に就任
令和 5 年	商業実務課程 情報ビジネス科 開始（工業専門課程より変更）

学校法人概要

理事長 林 直樹

理事・監事・評議員数

理事 5 名 監事 2 名 評議員 6 名

役職名	氏 名	就 任 日	備 考
理事長	林 直樹	令和 2 年 11 月 1 日	学外
理事	加藤 泰博	平成 28 年 4 月 1 日	学内
理事	大山 明子	令和 1 年 9 月 1 日	学外
理事	山上 むつき	令和 1 年 11 月 21 日	学内
理事	林 康夫	平成 26 年 12 月 24 日	学外

設置校の概要

学校名 専門学校ファースト学園 金沢校

学校長 加藤 泰博

設置学科

学科名	修業年限	総定員	在籍数
情報システム科	2 年	40 名	40 名
情報ビジネス科	2 年	40 名	26 名
グローバルコミュニケーション科	2 年	40 名	53 名
グローバルコミュニケーション科	1.5 年	40 名	9 名

(2024 年 5 月 1 日現在)

教職員数

- 1) 専任教員数9 名
- 2) 兼任教員数16 名
- 3) 専任職員数5 名

(2024 年 5 月 1 日現在)

課程概要

ディプロマ 情報システム科

学科名	情報システム科
目指す人物像	専門スキルを身につけた即戦力となるエンジニア
ディプロマポリシー	1 専門知識 1-1 IT 技術者として必要な基礎知識を習得している。 1-2 要望に応じたシステム設計を適切に行うことができる。 1-3 問題・課題に対して、的確な手法を使って解決できる。 1-4 社会人として必要な一般常識や知識があり、適切なコミュニケーションができる。
	2 意欲 2-1 自ら解決する意思を持っている。 2-2 自分の役割を理解し作業を行うことができる。 2-3 スキルアップを行うことができる。
	3 コミュニケーション能力 3-1 相手の要望を正確に理解することができる。 3-2 自分の考え、行動や成果を人に伝えることができる。 3-3 チームで行う作業を円滑に進めることができる。

カリキュラムポリシー	1 IT 技術を習得するための専門科目を配置する。 2 システム開発の実践技術を習得するための演習科目を配置する。 3 プログラミングの技術を習得するための専門科目を配置する。 4 コミュニケーションスキルを向上させる実践的科目を配置する。
アドミッションポリシー	1 意欲のある人。 2 知識の向上に努め、やれることを増やしたい人。 3 システム開発や運用の技術で社会に貢献したい人。 4 コミュニケーションスキルを向上させたい人。

カリキュラム

情報システム科(工業専門課程)

分類			授業科目名	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講 義	演 習	実験・実習・実技
○			コンピューター概論	1 前	90	6	○		
○			プログラミング基礎 1	1 前	45	2	△	○	
○			プログラミング基礎 2	1 後	45	2	△	○	
○			プログラミング応用	1 後	90	4	△	○	
○			AI プログラミング	2 後	90	4	△	○	
○			Web プログラミング	1 前	45	2	△	○	
○			Web デザイン	1 後	90	4	△	○	
○			Web アプリケーション	2 前	90	4	△	○	
○			データベース設計	1 後	45	2	△	○	
○			データベース	2 前	45	2	△	○	
○			スマートフォンアプリ開発基礎	2 前	45	2	△	○	
○			クラウドサービス基礎	2 後	45	2	△	○	
○			グラフィック 1	1 前	45	2	△	○	
○			グラフィック 2	2 後	45	2	△	○	
○			3Dモデリング	1 前	45	2	△	○	
○			ゲーム開発 1	1 前	45	2	△	○	
○			ゲーム開発 2	1 後	45	2	△	○	
○			ゲーム開発 3	2 前	45	2	△	○	
○			IoT 基礎	2 後	45	2	△	○	
○			製図基礎 1	1 後	45	2	△	○	
○			製図基礎 2	2 後	45	2	△	○	
○			オフィス 1	1 前	45	2	△	○	
○			オフィス 2	1 後	45	2	△	○	
○			動画編集	2 前	45	2	△	○	
	○		グラフィックデザイン	2 前	45	2	△	○	
○			教養 1	1 前	45	3	○		
○			教養 2	2 前	45	3	○		
○			教養 3	2 後	45	3	○		
	○		プレゼンテーション	2 前	45	2	△	○	
	○		企業実習	2 前	45	2	△		○
○			キャリアサポート 1	1 後	45	2	○	△	
○			キャリアサポート 2	2 前	45	2	○	△	

○			キャリアデザイン	1 前	45	3	○		
	○		課題制作 1	2 前	45	2	△	○	
	○		課題制作 2	2 前	45	2	△	○	
○			卒業制作	2 後	135	6	△	○	
合計			科目		1935 時間	92 単位			

卒業要件		授業期間等	
学費を完納していること 86 単位を取得すること（選択必須より 4 単位取得）		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

ディプロマ 情報ビジネス科

学科名	情報ビジネス科
目指す人物像	一般常識と情報技術の基本を身につけた、コミュニケーションスキルのある知識人
ディプロマポリシー	1 専門知識 1-1 ビジネスマナー全般を習得している。 1-2 情報リテラシーの基礎知識を習得している。 1-3 オフィスソフトの基礎技術を習得している。 1-4 労務に関する基礎知識を理解している。 1-5 業務を円滑に行うことができるコミュニケーションスキルを身につけている。 1-6 会社の基幹業務に携わる基礎技術を習得している。
	2 意 欲 2-1 自ら解決する意思を持っている。 2-2 積極的に理解に努め作業を行うことができる。 2-3 積極的にスキルアップを行うことができる。
	3 コミュニケーション能力 3-1 相手の要望を正確に理解することができる。 3-2 自分の考え、行動や成果を人に伝えることができる。 3-3 チームで行う作業を円滑に進めることができる。 3-4 外国人とのコミュニケーションスキルを持っている。
カリキュラムポリシー	1 ビジネスマナーの基礎知識を身につけるための科目を配置する。 2 情報リテラシーの基礎知識を身につけるための専門科目を配置する。 3 オフィスソフトの基礎技術を習得するための専門科目を配置する。 4 労務の基礎知識を身につけるための科目を配置する。 5 コミュニケーションスキルを向上させる実践的科目を配置する。 6 会社の基幹業務に必要な基礎知識や技術を身につける専門科目を配置する。
アドミッションポリシー	1 意欲のある人。 2 知識の向上に努め、やれることを増やしたい人。 3 コミュニケーションスキルを向上させたい人。 4 自ら社会に貢献しようとする意識の有る人。

カリキュラム

情報ビジネス科(商業実務専門課程)

分類			授業科目名	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講 義	演 習	実験・実習・実技
○			ビジネスマナー	1 前	45	3	○		
○			ビジネス実務	2 後	45	3	○		
○			コミュニケーション 1	1 後	45	2	○	△	
○			コミュニケーション 2	2 後	45	2	○	△	
○			サービス接遇	2 後	45	3	○		
○			異文化理解	1 前	45	3	○		
○			ビジネス日本語 1	1 前	45	3	○		
○			ビジネス日本語 2	2 前	45	3	○		
○			ビジネス外国語 1	1 後	45	3	○		
○			ビジネス外国語 2	2 前	45	3	○		
○			マネジメント	2 後	45	2	○	△	
○			マーケティング理論	2 前	45	2	○	△	
○			労務管理	1 後	45	3	○		
○			簿記会計 1	1 後	45	3	○		
○			簿記会計 2	2 前	45	3	○		
○			会計処理	2 後	45	3	○		
○			情報リテラシー	1 前	45	3	○		
○			ネットワーク基礎	1 後	45	2	○	△	
○			Windows 基礎	1 前	45	2	○	△	
○			クラウド活用	2 後	45	2	○	△	
○			データ分析	2 前	45	2	○	△	
○			オフィス 1	1 前	45	2	△	○	
○			オフィス 2	1 前	45	2	△	○	
○			オフィス 3	1 前	45	2	△	○	
○			Web 基礎	1 後	45	2	△	○	
○			Web 活用	2 前	45	2	△	○	
○			CAD 演習 1	1 前	45	2	△	○	
○			CAD 演習 2	2 前	45	2	△	○	
○			CAD 実習 1	1 後	45	2	△	○	
○			CAD 実習 2	2 後	45	2	△	○	
○			卒業研究	2 後	90	4	△	○	
○			課題制作 1	1 後	45	2	△	○	

○			課題制作 2	2 前	45	2	△	○	
○			プレゼンテーション	2 後	45	2	○	△	
○			企業実習	1 後	45	2	△		○
○			キャリアデザイン 1	1 前	45	3	○		
○			キャリアデザイン 2	2 前	45	3	○		
○			キャリアサポート 1	1 後	45	2	○	△	
○			キャリアサポート 2	2 前	45	2	○	△	
合計			39 科目		1800 時 間	95 単位			

卒業要件		授業期間等	
学費を完納していること 95 単位を取得すること		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

カリキュラム グローバルコミュニケーション科(進学 2 年コース)

分類			授業科目名	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			総合日本語Ⅰ	1 前・後	740	40	○		
○			総合日本語Ⅱ	2 前・後	700	40	○		
○			生活日本語	1 前・後	74	4	○		
○			進学日本語	2 前・後	70	4	○		
○			文化教養	2 前・後	70	4	○		
合計			5 科目		1654 時間	92 単位			

卒業要件	授業期間等	
学費を完納していること 全 92 単位を取得すること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	17～19 週

グローバルコミュニケーション科 (進学 1.5 年コース)

分類			授業科目名	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			総合日本語Ⅰ	1 後	380	20	○		
○			総合日本語Ⅱ	2 前・後	700	40	○		
○			生活日本語	1 後	38	2	○		
○			進学日本語	2 前・後	70	4	○		
○			文化教養	2 前・後	70	4	○		
合計			5 科目		1258 時間	70 単位			

卒業要件	授業期間等	
学費を完納していること 全 70 単位を取得すること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	17～19 週

年度基本方針

学校法人ファースト学園

2024 年度基本方針

1. デジタルトランスフォーメーションの推進

教育プロセスの全面的なデジタル化を進め、AI や機械学習を活用した個別学習支援システムを導入します。これにより、学生一人ひとりの学習スタイルや能力に合わせたカスタマイズされた教育を提供し、学習効率の最大化を図ります。

2. 持続可能な社会への貢献

環境問題や社会的課題の解決に向けたプロジェクトベース学習を強化します。地域社会や企業と連携し、持続可能な開発目標(SDGs)に貢献するイノベーションを促進します。

3. グローバルリーダーシップの育成

国際交流プログラムを拡大し、多文化共生の理解とグローバルリーダーシップスキルの養成に重点を置きます。海外の大学や研究機関との共同研究プログラムを新設し、学生に国際的な視野を持った研究機会を提供します。

4. イノベーションと起業家精神の育成

学生が自らのアイデアをビジネスにつなげる力を育てます。インキュベーションセンターやベンチャーキャピタルと連携し、学生起業の支援体制を整備します。

5. 社会との連携強化

企業や地方自治体との連携をさらに深め、インターンシップや共同研究の機会を増やします。実社会の課題解決に貢献することで、学生の社会実践力を高めるとともに、学園の社会的責任を果たします。

6. 教育の質の向上と評価

教育内容と方法の継続的な見直しを行い、国際基準に基づく教育評価システムを導入します。外部の専門家による評価とフィードバックを定期的に受け、教育の質をさらに高めます。

これらの方針は、社会の変化に迅速に対応し、未来にわたって価値を提供し続ける人財を育成することを目的としています。

特に、デジタルトランスフォーメーションの推進や持続可能な社会への貢献は、現代社会において極めて重要なことから、これらを教育プログラムに組み込むことで、学生たちは最先端の技術スキルだけでなく、社会的課題への深い理解と解決策を提案する能力を身につけることができます。

グローバルリーダーシップの育成やイノベーションと起業家精神の養成は、学生たちが国境を越えて活躍し、新たな価値を創造する力を培うために不可欠です。また、社会との連携を強化することで、学生たちは実践的な経験を積みながら、即戦力としての能力を高めることができます。

教育の質の向上と評価に関しては、外部からの客観的なフィードバックを取り入れることで、教育プログラムの改善を継続的にを行い、学園全体の教育レベルを国際的な基準に合わせて高めていくことが重要です。これにより、卒業生は世界どこでも通用する高い資質を持った人材として、社会に出ていくことができます。

さいごに

財務体質の強化

財務管理の効率化と透明性の向上

効率的な資源配分：学園の運営におけるすべてのコストを見直し、効率的な資源配分を実現します。無駄を省き、最も影響力の高いプロジェクトやプログラムに資源を集中させることで、投資の効果を最大化します。

財務透明性の向上：寄付者やステークホルダーに対する責任を果たすため、財務報告の透明性を高めます。定期的な財務報告と、財務状況に関するオープンなコミュニケーションを通じて、信頼性を確保します。

新たな収入源の開拓

産業界とのパートナーシップの拡大：企業との共同研究プロジェクトや、企業が求めるスキルを持つ卒業生の育成を通じて、産業界とのパートナーシップを強化します。これにより、企業からの研究資金や寄付を増やし、新たな収入源を確保します。

アルumniネットワークの活用：卒業生との強い絆を築き、アルumniネットワークを通じた資金調達を促進します。アルumniによる寄付や奨学金基金への貢献を促し、学園の財務基盤の強化に寄与します。

収益事業の展開：教育関連サービスやテクノロジーのライセンス、学園が持つ施設の有効活用など、収益を生み出す事業を展開します。これらの事業からの収益を、学園の教育や研究、社会貢献活動に再投資します。

コスト管理と効率化

運営コストの最適化：エネルギー使用の効率化、デジタル技術を利用した業務プロセスの合

理化などを通じて、運営コストを削減します。

長期的な財務計画の策定：未来の不確実性に備え、長期的な視点での財務計画を策定します。リスク管理を強化し、予期せぬ経済的変動にも対応できる財務体制を構築します。

これらの取り組みにより、学園は財務体質を強化し、教育の質の維持・向上、研究活動の推進、社会貢献活動の持続可能性を確保することができます。財務体質の強化は、学園が直面する挑戦に柔軟かつ効果的に対応するための基盤を提供します。また、経済的安定性は、学園が長期的なビジョンと戦略を追求し、学生、教職員、地域社会に対して持続的な価値を提供し続けるために不可欠です。

これらの財務強化策は、学園が社会の急速な変化に適応し、新たな教育ニーズに応え、イノベーションを促進するための資金的な柔軟性と安定性を提供します。財務の健全性を確保することで、学園は能登半島地震のような地域社会の復興支援や、環境問題、グローバル化に伴う課題への対応など、より広範な社会貢献活動を積極的に行うことが可能になります。

最終的に、2024 年度の基本方針は、学園が教育、研究、社会貢献の各分野で優れた成果を上げるための指針となります。財務体質の強化は、これらの目標達成を支える根幹であり、学園の将来にわたる成功と発展のために重要な役割を果たします。

年度重点目標

令和 6 年度重点目標

◆年度テーマ

デジタル技術活用によるアダプティブラーニングを推進する。

また学習過程においては社会との連携を重視し、グローバルな視点を持って持続可能な社会実現に資する人材育成を目指す。

◆重点目標

1. 教育の質向上

1) 情報システム科

- ・学習成果の可視化
- ・学生の主体的学びの実践
- ・学科の特性を生かす授業の実践

2) 情報ビジネス科

- ・社会で役立つ実践的授業の実施
- ・教育活動の訴求力向上
- ・学科の特性を生かす授業の実践
- ・入学前から卒業後までのサポート具体化

3) グローバルコミュニケーション科

- ・「認定日本語教育機関」としての枠組み構築
- ・個々に適応した自律学習の実践

2. 教育サービス環境の整備

1) 情報システム科・情報ビジネス科

- ・入学前から卒業後までのサポート具体化
- ###### 2) 環境の質向上
- ###### 3) 学生満足度の向上

3. 教職員の質向上

- ###### 1) 業務対応力の向上
- ###### 2) 指導力の向上
- ###### 3) 専門分野のスキルアップ

4. 広報活動の標準化

1) 情報システム科・情報ビジネス科

- ・定員の充足
- ・学校の認知度向上（教育内容の向上連動）
- ・学校の差別化

2) グローバルコミュニケーション科

- ・定員充足及び N4 レベル以上の学生確保
- ・多文化多国籍化の推進

5. キャリア支援の強化

1) 情報システム科・情報ビジネス科

- ・就職率100%

- ・キャリア支援満足度向上プログラム具体化と周知

- ・卒業生との連携強化

2) グローバルコミュニケーション科

- ・進学・就職率100%

6. ガバナンスの強化

1) 実績管理と評価

2) 組織的業務推進

3) 財務の健全化

活動報告 令和6年4月～9月

月	全体	情報システム科	情報ビジネス科	グローバルコミュニケーション科	広報
4月	8日 入学式 15日 入学式(2回目 グローバルコミュニケーション科)	18日 学内会社説明会(株式会社ダイエエンジニアリング) 26日 学内会社説明会(株式会社シー・アイ・ティ)	10日 公休)バングラデシュ学生 13日 公休)スリランカ学生 17日 公休)ミャンマー学生	上旬 留学生入国(25名) 10日 公休)バングラデシュ学生 13日 公休)スリランカ学生 17日 公休)ミャンマー学生 22～30日 10月生入試(オンライン)	リスト獲得数 68件 オープンキャンパス 2名ガイダンス 4件(32名) 第一学院高等学校金沢キャンパス 独自体験授業(IT分野の仕事体験)
5月	1日 交流会 2日 健康診断(学生 123名) 20～24日 健康診断(教職員) 28日 避難訓練 30日 設備工事(ブラインド)	1日 交流会 8日 金沢めぐり事前ミーティング 14日 オンライン会社説明会(株式会社オープンアップITエンジニア) 16日 遠足(金沢めぐり) 17日 学内会社説明会(株式会社エイジェック) 22日 学校見学会(ジョブカフェ主催9社参加)留学生対象	1日 交流会 8日 金沢めぐり事前ミーティング 16日 遠足(金沢めぐり) 22日 学校見学会(ジョブカフェ主催9社参加)留学生対象	1日 交流会 8日 金沢めぐり事前ミーティング 16日 遠足(金沢めぐり)	リスト獲得数 66件 オープンキャンパス 5名ガイダンス 6件(25名) 保護者相談会DM送付 329名 GC科内部進学説明会 福井ランゲージアカデミー進学説明会 金沢めぐり 中日新聞・北國新聞紙面掲載
6月	6日 設備工事(ハンドドライヤー設置) 27日 学校関係者評価委員会議 28日 セミナー(取次申請者)	4日 株式会社マルゲン 7日 学内会社説明会(株式会社アスパーク) 19、22日 MOS Word 2019(1年) 21日 わいわい会社説明会(株式会社テクノプロ テクノプロIT社) 29日 ビジネス文書検定	20日 校外学習)ホテル八木	13日 10月期生在留資格認定申請	リスト獲得数 146件 オープンキャンパス 4名 ガイダンス 10件(112名) TV・ラジオCM放送(6/17～7/21) TverCM放送(6/17～7/21 大型ディスプレイ広告(6/24～7/23) ノベルティ制作(ロゴ入りシャー芯)
7月	6日 学生ラウンジFreeWiFi工事	5日 学内会社説明会(株式会社エー・オー・シー) 7日 検定)日本語能力検定試験 N2 16日 学内会社説明会(株式会社アウトソーシング) 29日～ 前期試験	7日 検定)日本語能力検定試験 N1～N4 29日～ 前期試験	7日 検定)日本語能力検定試験 N2～N4 10、11日 文化教養(七夕)1、2年生 19日 バスハイク(東尋坊・水族館) 29日 夏期休講開始	リスト獲得数 181件 オープンキャンパス 6名ガイダンス 7件(70名) 第43回専門学校進学指導研究協議会テレビ金沢「コレ金」放送 夏の特別体験DM送付 579名 Web広告開始(7/12～9/20)
8月		～3日 前期末試験 3日 検定)MOS Excel 2019(1年) 5日 夏期休講開始 20、21日 登校日(1年)	～3日 前期末試験 5 日 夏期休講開始 21日 登校日(1年)	5、6日 日本語教育研究大会 8日 登校日 23日 登校日 23日 10月期生在留資格認定書交付 26日 学内研修会 31日 夏期休講終了	リスト獲得数 37件 オープンキャンパス 21名ガイダンス 1件(9名) 辰巳丘高等学校面接指導 保護者相談会DM送付 625名他校オープンキャンパス調査 GC科向けオープンキャンパス(24名) 学びフェスタ
9月	28日 学園祭	6日 視察(石川県産業立地課) 17日 セミナー(石川キャリア形成サポートセンター) 18日 着こなし講座、メイク講座、証明写真撮影 18日 教育課程編成委員会会議 19、20日 インターンシップ(アルプス技研) 27日 検定)MOS Excel 2019(1年) 26日～29日 補講	18日 着こなし講座、証明写真撮影 24日 検定)MOS Excel 2019(1年) 26日～29日 補講	2～10日 4月生入試(オンライン) 12～24日 4月生入試(現地) 17～20日 前期末試験 20日 文化教養(浴衣体験)2年生	リスト獲得数 71件 オープンキャンパス 6名ガイダンス 6件(58名) OCアンケート見直し&Web版導入学園祭

※9/6 視察…県内への企業誘致のため

活動報告 令和6年10月～令和7年3月

月	全体	情報システム科	情報ビジネス科	グローバルコミュニケーション科	広報
10月	15日 入学式（3回目 グローバルコミュニケーション科） 日 健康診断（学生16名）	12日 公休）ネパール	12日 公休）ネパール 24日 校外実習（イーピーエムグループ）	上旬 留学生入国(16名) 12 日 公休）ネパール	リスト獲得数 103件 オープンキャンパス 1名 ガイダンス 9件（91名） TVCM放送（10/1～10/31） 保護者相談会DM送付 600名 オープンキャンパス 1名 ガイダンス 9件（91名） 出願：システム科6名、ビジネス科10名
11月	1日 健康診断（学生16名） 26日 避難訓練	7日 校外授業（株式会社C8LINK）	14日 企業実習（株式会社山越） 28日 校外学習（いしかわ動物園）	11日 交流会（10月生歓迎会） 27日 2024年4月期生在留資格認定申請	リスト獲得数 83件 オープンキャンパス 6名ガイダンス 5件（36名） 冬の特別体験会DM送付 628名 出願：システム科4名、ビジネス科4名第1回・第2回入試実施
12月	3日 支援物資配布（聖霊児童相談センター あい） 17日 支援物資配布（聖霊児童相談センター あい）	1日 検定）日本語能力検定試験 N2 20日 検定）ビジネス能力検定B検ジョブパス3級（1年） 23日 冬期休講開始	1日 検定）日本語能力検定試験 N1～N4 12日 校外学習（アリス館志賀） 23日 冬期休講開始	1日 検定）日本語能力検定試験 N2～N4 20日 文化教養（カラオケ） 23日 冬期休講開始	リスト獲得数 101件 オープンキャンパス 2名ガイダンス 6件（25名） TVCM放送（12/10～1/15） 出願：システム科3名、ビジネス科0名第3回入試実施
1月	14日 支援物資配布（聖霊児童相談センター あい） 28日 支援物資配布（聖霊児童相談センター あい）	12日 冬期休講終了	12日 冬期休講終了 30日 企業実習（株式会社北陸サンライズ）	12日 冬期休講終了 17日 バスハイク（東京ディズニーランド 1年生） 31日 バスハイク（一里野スキー場 2年生）	リスト獲得数 88件 オープンキャンパス 2名ガイダンス 4件（37名） 保護者相談会DM送付 658名 出願：システム科0名、ビジネス科0名
2月	4日 支援物資配布（聖霊児童相談センター あい） 18日 支援物資配布（聖霊児童相談センター あい）	10～15日 後期末試験 10日 検定）MOS PowerPoint 2019（1年） 17日 就活セミナー（SMBCコンシューマーファイナンス株式会社） 17日 在校生講話 17日 校外実習（テーブルマナー講座） 18日 卒業生による講話（日本海電化鋳造株式会社） 18日 IT就活セミナー（株式会社 シー・アイ・ティー） 19日 企業見学（株式会社ハイテクス・株式会社鈴木鉄工） 21日 卒業制作発表会	10～15日 後期末試験 3～7日 校外実習（JR西日本、日本旅行） 17日 就活セミナー（SMBCコンシューマーファイナンス株式会社） 17日 在校生講話 17日 校外実習（テーブルマナー講座）	4日 文化教養（書道体験） 18日 後期末試験（1年生） 20日 2025年度4月期生在留資格認定書交付 21日 卒業制作発表会	リスト獲得数 32件 ガイダンス 2件（21名） 保護者相談会DM送付 650名
3月	14日 卒業式・卒業記念パーティ			7日 スピーチ大会（1年生） 18日 学内研修会・講師会	ガイダンス 6件 小松北高等学校独自講演会（18日）